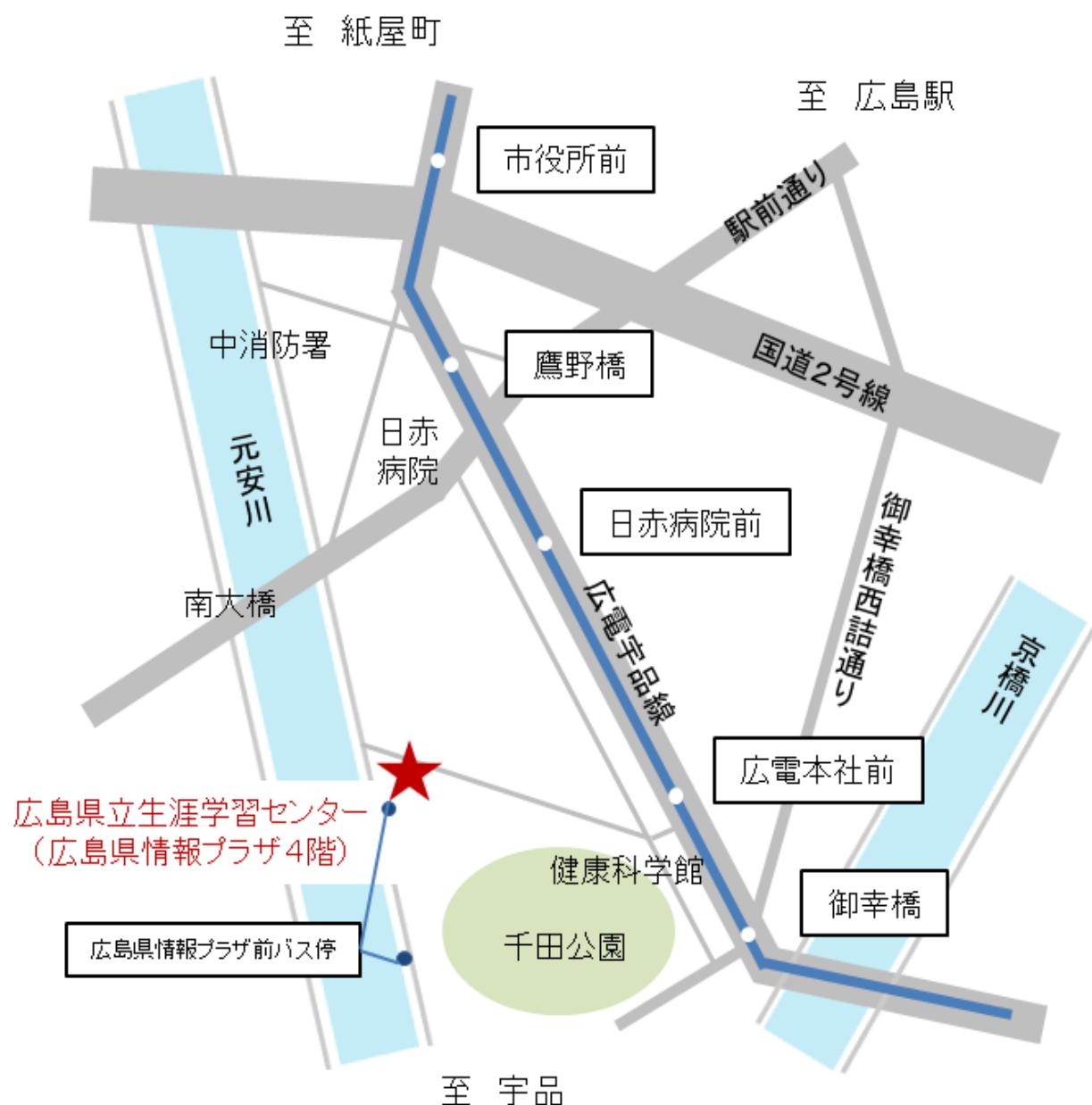
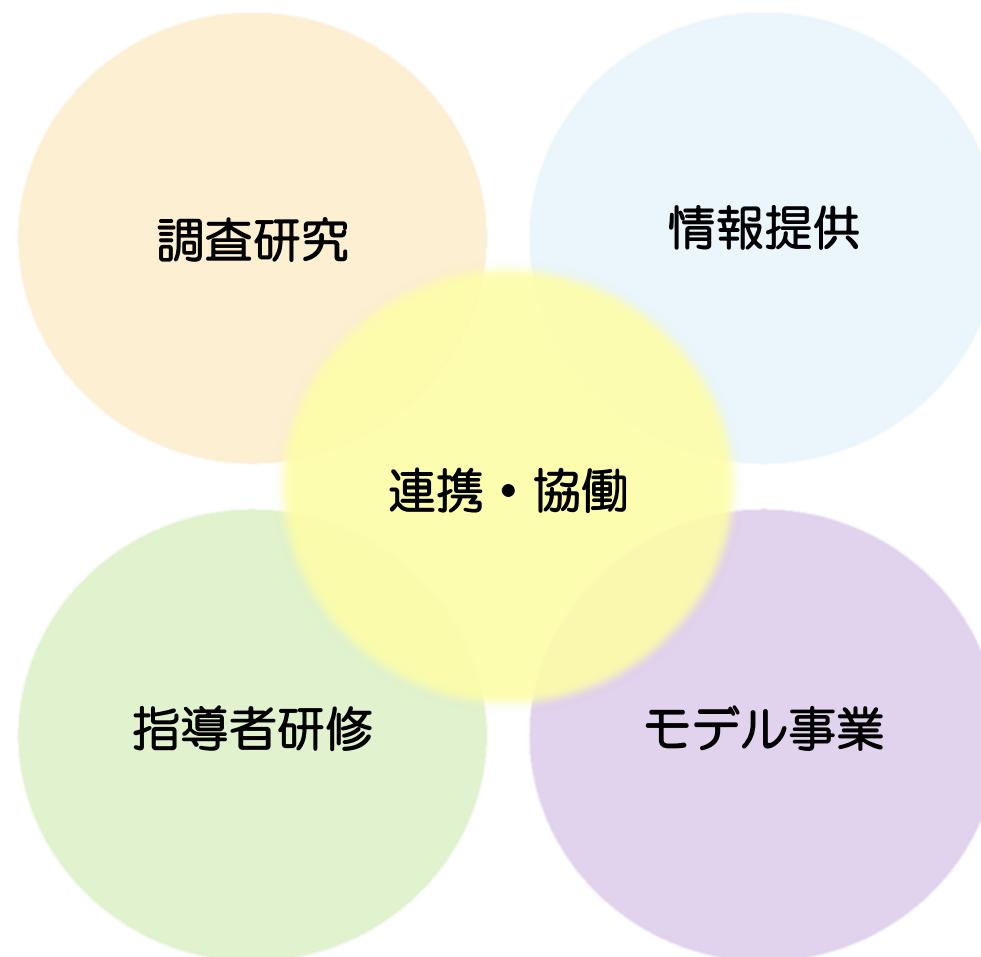


アクセス



広島県立生涯学習センター

機能と事業の御案内

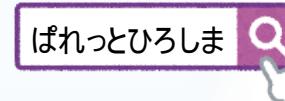


- 路線バス
広島バス 21-2号線(宇品線)広島港・プリンスホテル行(ベイシティ経由)
「広島県情報プラザ前」下車 徒歩1分
- 路面電車
広島港(宇品)行(紙屋町経由)「広電本社前」下車 徒歩8分

※駐車場は、広島県情報プラザ内の有料駐車場をご利用ください。
(30分以内無料, 以後30分ごとに150円)

広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47
TEL:082-248-8848 FAX:082-248-8840
MAIL: sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp
H P: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>



広島県立生涯学習センター機能と事業

活力ある人づくりと人を活かす社会づくりをめざして、県民の生涯学習活動を支援します。

調査研究

- 生涯学習支援方策調査研究
- ボランティア育成支援方策研究開発

指導者研修

- 指導者研修
- 生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修
 - 基礎研修
 - 学習プログラム研修
 - 社会教育主事等研修
(兼社会教育士フォローアップ研修)
 - 地域づくりのための学習プロジェクト立案研修
 - 地域課題対応研修支援(訪問型研修)
- 公民館等職員研修
- ボランティア・コーディネーター等研修
- コミュニティ・スクール/地域学校協働活動推進事業に係る研修
- 家庭教育支援事業に係る研修
- 専門職員等養成(資格取得)
社会教育主事講習[B]

連携・協働

- 社会教育関係団体との連携・協働
- 高等教育機関との連携・協働
- 広島県立図書館との連携・協働
- 社会教育士ネットワーク

情報提供

- WEBサイト運営・メルマガ配信
- 研修コンテンツ等開発

モデル事業

- 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業
- 家庭教育支援事業
「親の力」をまなびあう学習プログラム
- 地域学校協働活動推進事業
大学生ボランティアチーム
「ワクワク学び隊」派遣

広島県生涯学習研究実践交流会 (日本生涯教育学会との共催)

生涯学習・社会教育関係者が一堂に会して研究や実践、交流し、連携・協働のプラットフォームとして、広範なネットワークづくりを進めます。

令和7年度生涯学習センター実施予定の研修等一覧

令和7年4月11日現在

資料1-2

1 希望研修

受講対象

ア 市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員

例：担当課職員、社会教育主事、生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設（コミュニティセンター等）職員等

イ 首長部局等で、地域づくりや地域課題に関する啓発事業・講座等の企画運営を担当している方

例：地域リーダーの育成を担当する地域政策課職員、子育て・高齢者支援等の講座を担当する福祉課職員、社会教育士、地域おこし協力隊員等

	実施日時	研修名	趣旨等	実施方法 又は会場	講師等	備考
①	5月15日(木) 10:30~16:00	基礎研修 —初めての方も、繰り返し学ぶ方も、 共に学ぶ職務の基礎—	生涯学習振興・社会教育行政関係職員にとって、職務上必要な基礎的な知識の習得を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 生涯学習・社会教育に関する基礎的な事項を理解することができる。 ○ これからの生涯学習振興・社会教育行政関係職員に求められる役割を理解することができる。 ○ 多様な主体と連携・協働しながら、業務を推進していく方法、視点等を理解することができる。	対面・オンライン の同時開催 西部会場 広島県情報プラザ 東部会場 広島県福山庁舎	大分大学 教育マネジメント機構 基盤教育センター 教授 岡田 正彦 ※実践発表あり	初めて生涯学習振興・社会教育行政関係の職務に就かれた方、もう一度基本から学びたい方におすすめです。
②	5月29日(木) 13:30~16:30	学習プログラム研修 —学習プログラムの企画・ 立案・評価能力の向上—	第1回 事業や講座を実施する職員に対し、職務上必要な学習プログラムの企画・立案・評価に関する能力の向上を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスがとれた学習プログラムを企画・立案することができる。 ○ 学習プログラムを評価することができる。 ○ 多様な主体と連携・協働しながら、業務を推進していくことができる。	オンライン	大分大学 教育マネジメント機構 基盤教育センター 教授 岡田 正彦	公民館等で日常的に講座や事業の企画運営を担当されている方におすすめです。
	第2回		対面・オンライン の同時開催	生涯学習センター職員		
	第3回		西部会場 広島県情報プラザ 東部会場 広島県福山庁舎	大分大学 教育マネジメント機構 基盤教育センター 教授 岡田 正彦		
	6月11日(水) 10:00~15:30					
	7月3日(木) 13:30~16:30					

③	6月19日(木) 13:30~16:30	社会教育主事等研修 (兼 社会教育士 フォローアップ研修) —深める知識・技能、 広げるネットワーク—	第1回	県内市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員等に対し、職務等に対応した研修を実施し、職員としての専門的な知識・技能、資質の向上を図ります。また、社会教育士等を対象としたフォローアップ研修として位置づけ、地域の社会教育人材がそれぞれの専門性と相互のつながりを活かして活躍することができるよう、社会教育人材ネットワークの構築・活性化を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 最新の施策動向や先駆的取組に関する新たな知識を得ることができる。 ○ 多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決等につなげていく能力を高めることができる。 ○ 学習者の主体的な学びや地域社会への参画を促し、多様な特性に応じて学習を支援する能力を高めることができる。	対面・オンライン の同時開催 広島県情報プラザ	岡山理科大学 グローバルセンター 講師 木村 光宏	社会教育士・社会教育主事・社会教育行政関係の職務に就かれている方におすすめです。
	7月11日(金) 13:30~16:30		第2回				
④	7月31日(木) 9:30~16:30	地域づくりのための 学習プロジェクト立案研修 (広島版「学びから始まる 地域づくりプロジェクト」 支援事業) —学びを通じた地域づくりのための コーディネート力の向上—	地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である公民館等が、多様な主体と連携・協働して地域課題に対応した学習機会・支援を提供し、学びを通じた地域づくりを促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう、地域住民の主体的な学びを通じた地域課題解決・まちづくりの推進のための施策・事業を実践し、コーディネートできる人材の育成を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 学びから始まる地域づくりに関わる新しい知識や考え方を得ることができる。 ○ 地域の未来を考えながら、地域の現状や課題、資源を分析し、プロジェクト案を作成することができる。 ○ プロジェクト案を交流し、評価のポイントに基づいた点検や助言ができる。	対面・オンライン の同時開催 西部会場 広島市 (調整中) 東部会場 福山尾道方面 (調整中)	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学人文学部 学部長・教授 山川 肖美	地域の実情を踏まえ、複数年にわたるプロジェクトを企画・立案し、地域づくりにつなげていきたい方におすすめです。	
⑤	12月上旬 (調整中)	公民館等職員研修 (共催：広島県公民館連合会)	人や情報のコーディネート、地域づくり・まちづくりの推進、事業の企画・立案などの取組の中心的な役割を担う公民館等職員の専門性の向上を図ります。 【テーマ】地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進	対面 西部会場 熊野町 東部会場 福山市	(調整中)		
⑥	6月5日(木) 12:15~16:00	社会教育委員研修 (主催：広島県社会教育委員 連絡協議会)	広島県の社会教育の振興充実に向けて、広島県内の社会教育委員が一堂に会し、研修の場を共有することによって、相互の連携を深めます。 【テーマ】地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けた教育の推進 ～これからの社会教育委員に期待すること～	対面 三原市本郷 生涯学習センター	岡山県立大学 保健福祉学部現代福祉学科 教授 近藤 理恵		

2 ボランティア・コーディネーター研修

◆ 家庭教育支援関係

受講対象

- ア 家庭教育支援ボランティア
- イ 市町の家庭教育支援担当職員等

	実施日時	研修名	趣旨等	実施方法 又は会場	講師等	備考
①	9月中旬 (調整中)	アウトリーチ型家庭教育支援研修 —大人も子供も共に成長する 居場所づくり—	家庭教育支援に係る活動についての実践報告や情報交流を通じて、家庭教育支援に関する知識を深めるとともに、受講者間での意見交流を通じて活動への意欲をさらに高めます。	対面・オンライン の同時開催	(調整中)	
②	12月中旬 (調整中)	親プロファシリテーター ステップアップ研修 —実践交流会& ネットワーク構築会—	市町で活躍しているファシリテーターの実践発表や演習を通して、ファシリテーターとしての能力向上を図ると共に、県内の親プロファシリテーター等家庭教育支援ボランティアの活動の促進とネットワークづくりを行います。	対面・オンライン の同時開催	(調整中)	

◆ コミュニティ・スクール/地域学校協働活動 関係

受講対象

- ア 学校運営協議会委員、市町教育委員会又は校長が推薦する者、地域学校協働活動推進員
- イ 教職員（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）
- ウ コミュニティ・スクール又は社会教育行政関係職員

	実施日時	研修名	趣旨等	実施方法 又は会場	講師等	備考	
①	6月26日(木) 13:00~16:30	地域学校協働活動 コーディネーター 養成講座 (兼)理解促進研修 (第1回のみ) —地域と学校をつなぐ要とな るコーディネーターの養成—	社会に開かれた教育課程の実現に向けてコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めていくことについて理解するとともに、「地域とともにある学校づくり」と「学校とともにある地域づくり」を効果的に進めていくためのコーディネーターとしての資質・能力の向上を図ります。	対面・オンライン 西部会場 広島市まちづくり市民 交流プラザ 東部会場 広島県尾道庁舎 北部会場 広島県三次庁舎 芸北会場 北広島町まちづくり センター 会場をオンラインで 繋ぎます	国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ	学校と地域が協働する ために、実働するコー ディネートとして必 要な知識・スキルの習 得を図ります。	
	8月26日(火) 13:00~16:30				第2回		一般社団法人 まなびのみなと 円光 歩
	10月9日(木) 13:00~16:30				第3回		文部科学省CSマイスター 竹原 和泉

②	12月 (調整中)	コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の一体的推進 連絡交流会	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について、地域・学校・行政関係者の理解促進及び県内市町担当課のネットワーク化を図り、今後の取組の充実につなげます。	オンライン	(調整中)	
③	1月 (調整中)	「地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり」 フォーラム	他の校種、地域で行われている様々な事例をもとに、自地域での今後の取組について考えます。	オンライン	(調整中)	

3 専門職員養成研修

受講対象

社会教育主事講習等規程（昭和26年文部省令第12号）第2条各号のいずれかに該当する者

	実施日時	研修名	趣旨等	実施方法 又は会場	講師等	備考
①	1月16日(金) ～2月10日(火)	社会教育主事講習 [B] (広島会場) (主催：国立教育 政策研究所社会教 育実践研究センタ ー)	生涯学習概論 社会教育経営論 生涯学習支援論	社会教育法（昭和24年法律第207号）第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学大臣から委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与すること、及び社会教育に携わる専門的職員等の資質の向上を目的とした講習です。【分割履修可能】	オンデマンド 及びオンライン	
	2月12日(木) 13日(金) 2月16日(月) ～2月20日(金)		生涯学習支援論 社会教育演習	対面 広島県情報プラザ	生涯学習センター職員	

※ 広島大学主催の社会教育主事講習については、広島大学へ直接お問い合わせください。

4 サテライト研修

受講対象

ア 市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員

例：担当課職員、社会教育主事、生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設（コミュニティセンター等）職員等

イ 首長部局等で、地域づくりや地域課題に関する啓発事業・講座等の企画運営を担当している方

例：地域リーダーの育成を担当する地域政策課職員、子育て・高齢者支援等の講座を担当する福祉課職員、社会教育士、地域おこし協力隊員等

ウ 社会教育委員

エ 地域ボランティア・コーディネーター、社会教育士、親プロファシリテーター

オ 学校運営協議会委員、地域学校協働活動コーディネーター

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	随時	地域課題対応研修支援 (訪問型研修) —市町のニーズに合わせた 研修支援—	複雑化・多様化する社会や地域の課題に対応した事業の充実に向けて、市町の自律的な取組につながるよう、市町が実施する研修(人材育成)の企画・運営を総合的に支援します。 (研修メニュー例) ・「生涯学習・社会教育」の基本事項 ・参加型学習の実際とファシリテーションの基礎 ・社会教育委員の役割 ・アウトリーチ型家庭教育支援 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 等	対面・オンライン 希望市町	生涯学習センター職員 等	

5 広域な研修会等

参加対象

ひとづくり・つながりづくり・地域づくりを支える社会教育人材のみなさん(興味・関心のある方はどなたでも参加できます。)

(例：行政関係、学校・大学関係、社会教育関係、家庭教育関係、活動団体・グループ等、学生等、その他)

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	3月7日(土) (調整中)	第14回 広島県生涯学習研究実践交流会 —ひろしま発！つながり・つなぎ・ ひろげよう！— (主催：日本生涯教育学会(瀬戸内支 部・生涯学習実践研究所広島支部))	生涯学習・社会教育関係者が一堂に会して研究や実践を交流することで、生涯学習・社会教育を推進する上での資質を高めるとともに、連携・協働のプラットフォーム(幅広い機関・組織・団体等の乗り入れの場)として、生涯学習・社会教育関係者の広範なネットワークづくりを進めます。	広島県情報プラザ	(調整中)	ひとづくり・つながりづくり・地域づくりを支える社会教育人材のみなさんは、どなたでも参加できます。

※ 日程、内容、会場等に変更する場合があります。通知により確認してください。

是非、御参加ください！

昨年度は、県内の関係職員延べ **198名** が参加されました！

- 1 **仕事にすぐに役立つ内容を
1~3日間に凝縮して習得可能！**
- 2 **課題解決につながる
実践交流・参加型！**
- 3 **市町間や他部局に
広がるネットワーク！**

こんな
悩みや御要望は
ありませんか？

- 生涯学習や社会教育に関する**基本的な知識・技術**や**最新の動向**を学びたい。
- 地域課題の解決**に結びつく**事業を立案・評価**できる力を身に付けたい。
- 他市町や他機関・他部署の職員との**ネットワーク**を築きたい。

研修成果の活用

研修で学んだことを活用して
実際の業務に取り組みました。

〈受講者アンケートより〉

- ・個人の要望や社会の要請の双方に応えることができるようにするため、これまで以上に地域の方と積極的に関わるようになった。
- ・目まぐるしく変化する時代に、地域により適した生涯学習、社会教育を考えるためには、先駆的な取り組みなどの情報は常に意識していきたい。



県内市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員等に対し、職務等に対応した研修を実施し、職員としての専門的な知識・技能、資質の向上を図ります。

御希望の研修プログラムを選択してください。

基礎研修

初めての方も、繰り返し学ぶ方も、
共に学ぶ職務の基礎

5/15 (木) 対面・オンラインの同時開催

学習プログラム研修 [全3回]

現代社会や住民のニーズを捉えた
楽しく学べるプログラムの立案

① 5/29 (木)
② 6/11 (水)
③ 7/3 (木) } 対面・オンラインの同時開催

社会教育主事等研修 (兼 社会教育士フォローアップ研修)

深める知識・技能
広げるネットワーク

① 6/19 (木)
② 7/11 (金) } 対面・オンラインの同時開催

地域づくりのための 学習プロジェクト立案研修

学びを通じた地域づくりのための
コーディネート力の向上

7/31 (木) 対面・オンラインの同時開催

対象

- ◆ 市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員
例) 担当課職員、社会教育主事、生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設(コミュニティセンター等)職員等
- ◆ 首長部局等で、地域づくりや地域課題に関する啓発事業・講座等の企画運営を担当している方
例) 地域リーダーの育成を担当する地域政策課職員、子育て・高齢者支援等の講座を担当する福祉課職員、社会教育士、地域おこし協力隊員等

お問い合わせ

詳しい内容や参加申込等については、実施要項にて御案内します。

広島県立生涯学習センター

TEL: 082-248-8848 MAIL: sgcsshinkou@pref.hiroshima.lg.jp
HP: https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/

ぱれっとひろしま

検索

令和七年度
生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修

地域づくりなどに関わる**首長部局等の方の御参加も大歓迎！**

基礎研修



生涯学習・社会教育の基礎的な知識の習得

生涯学習・社会教育の基本事項、関係法令、国・県の動向、現場からの報告（やりがいと楽しさ）、関係職員の役割等

こんな方に
おすすめ！

初めて社会教育行政等を担当する方、もう一度基本から学びたい方

これからプログラムを考へるとき、研修で学んだこと（一人で悩まない、波及効果、バードビュー）を思い出しながり取り組んでいきたいと思ひます。



学習プログラム 研修



学習プログラムの企画・立案・評価能力の向上

地域課題の把握、学習プログラムの作成・評価・改善等

こんな方に
おすすめ！

事業・講座の企画運営を行つてゐる公民館等職員、地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員等

個人の要望や社会の要請のバランスを踏まえつつ、事業の継続性を考へたり参加者の興味の引き方を意識したりできるようになりました。



社会教育主事等研修 (兼 社会教育士 フォローアップ研修)



専門的教育職員としての知識・技能の向上 社会教育行政の経営戦略、社会教育を推進する地域ネットワークの 形成、参加型学習の実際とファシリテーション等

こんな方に
おすすめ！

社会教育士、社会教育主事、同有資格者、社会教育行政等の中核となる職員等

主体的になつてもらふのがゴールではなく、あくまでその人たちの学びや居場所がどうなりたいのかを一緒に話すプロセスが重要だと思ひました。



地域づくりのための 学習プロジェクト 立案研修



学びを通じた地域づくりのためのコーディネート力の向上

講義「学びから始まる地域づくり」、説明「「ひろプロ」の概要」、
「ひろプロ」企画シートの作成等

こんな方に
おすすめ！

事業・講座の企画運営を行つてゐる公民館等職員、地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員、社会教育主事（同有資格者）等

地域の人たちが自分たちの「理想」をワクワク、ドキドキしながら語り合える環境を整えていきたいと思ひます。



研修企画や人材育成の悩み を抱えていませんか？

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修

(訪問型研修)

地域課題対応 研修支援

～市町のニーズに合わせた研修支援！
訪問型研修～

広島県立生涯学習センターの社会教育主事等が訪問し、**多様化する地域課題に
対応した事業実施に係る市町の研修（人材育成）**※を総合的に支援します。

※市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員、公民館等施設職員、地域づくりや啓発事業等を担当する職員、社会教育委員、地域ボランティア・コーディネーター、親プロファシリテーター、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター等を対象とした研修等



STEP 1 研修支援申込受付

「研修支援申込書」※を提出してください。

※HPからダウンロードできます。

研修を企画してみたものの、この内容でいいのかな。
誰かに相談したいなあ。



STEP 4 アフターフォロー

次回以降の改善・発展、主体的な研修
実施に向けた支援を行います。

相談相手がいるって安心です。
次は別の研修についても相談してみよう。

STEP 2 研修企画支援

各市町の要望等に応じて、研修会の
企画・構成に関する助言や情報提供を
行います。

研修計画が完成した！
当日も安心して運営できそう。

STEP 3 研修運営支援

必要に応じて、広島県立生涯学習センターの
社会教育主事等が訪問し、研修の講師・
コーディネーター等を務めます。

研修コンテンツの提供をすることもできます。

実態に合った研修内容で明日からの
業務にすぐに役立つね！



詳しい内容は、「実施要項」を御参照ください。

▼ 御連絡・御相談はこちらまで！ ▼

問合せ：広島県立生涯学習センター振興課（広島県情報プラザ4階）
電話：082-248-8848 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp





学びから地域課題解決を導く研修づくりをしませんか？

広島県立生涯学習センターでは、各市町や各地域の課題やニーズに合った生涯学習振興・社会教育推進のための人材育成研修を、市町の担当者とともに考え、組み立てていく支援をしています。ぜひ、当センターを御活用ください。

広島県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー（広島修道大学教授）山川 肖美

令和6年度地域課題対応研修支援の一例

<11月12日（火）14:00～16:00> 尾道市社会教育委員研修会

テーマ：社会教育委員の役割

◆研修のねらい

社会教育委員が、教育振興基本計画の中にもあるウェルビーイングについて学び、意見交換をすることで、相互の連携を深める。

- 講義
「国・県の動向とウェルビーイングをふまえた社会教育委員の役割」
- 演習（グループワーク）
「社会教育委員としてできること～ウェルビーイングの実現を目指して」



 人と人とのつながりにより、ウェルビーイングが達成できていくような気がします（参加者）

 講話をふまえての協議はとても有意義でした。社会、地域とつながる子供たちの育成に尽力してまいります。（参加者）

<12月12日（木）14:00～16:00> 安芸高田市社会教育指導員研修会

テーマ：生涯学習・社会教育」の基本事項 学習プログラムの評価とリデザイン

◆研修のねらい

職務上必要な学習プログラムの企画・立案・評価に関する能力の向上を図る。
主催講座等の情報を交流して、今後の講座の企画・立案・評価へつなげる。

- 講義「生涯学習・社会教育の基本事項」
交流「事業推進の課題や悩み・改善策」
- 講義「学習プログラム作成のポイント」
演習「学習プログラムチェックシートを活用した自己評価と改善案の検討」



 最近研修に参加する機会もなかったので、他の指導員の方と意見交流できてとてもよかった。（参加者）

 自分の中の小さなことから重要なことまで聞いてもらううちにアイデアが浮かんできた。（参加者）

<1月29日（水）10:30～15:00> 再犯防止×地方創生政策 ワークショップ研修（広島矯正管区）

テーマ：参加型学習の実際と ファシリテーションの基礎

◆研修のねらい

国と地方という所属・立場の異なる両者が一堂に会し、顔の見える関係性を構築するとともに、再犯防止や地方創生に資する取組に関してアイデアを模索・共有することで、相互の連携強化を図る。

- ワークショップ
「広島県の再犯防止PRを考えよう」

 関係課同士の連携・協力を促す機会になった。（参加者）

 異業種・他分野で集まる面白さを知った。（参加者）

 もっと色々な機関・職種の方も交えて事例検討や意見交換を実施して、具体的な支援につないでいきたい。（参加者）



※研修の企画・立案、当日運営で支援を行いました。

その他、次のとおり支援実績があります。【令和6年度：13市町22件、令和5年度：7市町13件】
支援した研修の様子や研修資料の一部をHPでも紹介しています。今後の研修事業の企画・運営の参考にしてください。

ぱれっとひろしま



令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修 【地域課題対応研修支援（訪問型研修）】実施要項

1 趣 旨

複雑・多様化する社会や地域の課題に対応した事業の充実に向けて、市町の自律的な取組につながるよう、市町の社会教育主事、研修担当職員等と連携・協働し、市町が実施する研修（人材育成）の企画・運営を総合的に支援する。

2 主 催

広島県教育委員会（広島県立生涯学習センター）

3 ねらい

- (1) 市町の社会教育主事、研修担当職員等の指導力・企画力・コーディネート力の向上
- (2) 市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員等（社会教育委員、地域ボランティア・コーディネーターを含む）の資質・能力の向上

4 研修支援の対象

- (1) 市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員等（※）
※生涯学習振興・社会教育行政担当課職員、社会教育主事・生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設（コミュニティセンター等）職員、地域づくりや啓発事業・講座等の企画運営を担当する職員等
(例) 地域リーダーの育成やまちづくりワークショップを担当する地域政策課職員、子育て講座や高齢者対象の講座を担当する福祉課職員、地域おこし協力隊等
- (2) 社会教育委員
- (3) 地域ボランティア・コーディネーター、社会教育士、親プロファシリテーター
- (4) 学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター等

5 研修支援の方法等（オンライン可）

- (1) 市町が実施する関係職員等研修の企画・運営に係る支援
 - ア 研修プログラムの企画・運営に係る事前、事後の指導・助言
 - イ 研修当日の指導・助言（講師、運営支援）
 - ウ 研修コンテンツの提供
 - エ その他、研修の企画・運営に係る必要な支援
- (2) 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業における事業の立案・実施に係る支援

6 研修支援の内容

別紙「研修支援プログラム（例）一覧」を参考に、市町が希望する支援を実施する。
なお、実施に当たっては、市町の状況に応じて、構成や内容を調整する。

7 研修支援の基本的な流れ

① 「研修支援申込書」の提出

別紙様式「研修支援申込書」に必要事項を記載し、メールで提出してください。

※「研修支援申込書」の記載内容について、電話等で詳しく聞き取りをさせていただきます。

② 研修支援の実施可否の通知

「研修支援申込書」を提出していただいた市町に対して、研修支援の実施の可否を通知します。

③ 研修企画支援

「研修支援申込書」をもとに、電話・メール・面談等により、相談内容を改めてヒアリングし、研修プログラムの企画に係るアドバイスや情報提供等を行います。

④ 研修運営支援

必要に応じて、当センター職員（社会教育主事等）が訪問し、研修当日の講師、コーディネーター等を務めます。また、市町の職員（社会教育主事等）が当日の講師等を担当する場合、広島県立生涯学習センター開発の研修コンテンツデータ（読み原稿入りのパワーポイント資料や演習ワークシート等）を提供することもできます（課題・実態に応じてアレンジ可）。

※県が研修を主催、代行するものではないことに留意してください。

⑤ 研修終了後のアフターフォロー

「振り返りアンケート」の分析等をもとに、次回以降の改善・発展及び市町の主体的な研修実施体制の構築に向けて支援します。

8 申込方法等

(1) 申込方法

各市町担当課において「研修支援申込書」を作成の上、メールで提出してください。

(2) 申込先及び問合せ先

広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

電話：082-248-8848 メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

9 その他

広島県立生涯学習センター職員の訪問に係る旅費は県が負担します。

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【地域課題対応研修支援（訪問型研修）】

研修支援申込書

提出日：令和 年 月 日

1	研修担当者	市 町 名				
		所 属				
		職名・氏名				
2	研修名					
3	会場					
4	研修のねらい (向上させたい能力等)					
5	対象者					
6	希望日時	第1希望	令和 年 月 日 ()	:	～	:
		第2希望	令和 年 月 日 ()	:	～	:
		第3希望	令和 年 月 日 ()	:	～	:
		※日程が決定していない場合は、「〇月中旬」といった書き方でも構いません。 ※研修を複数回行う場合は、「8 研修内容」に全体計画も記入してください。				
7	参加予定人数					
8	研修内容					
9	希望する 支援の方法等 ※該当に☑ (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 研修プログラムの企画・運営に係る事前、事後の指導・助言 <input type="checkbox"/> 研修当日の指導・助言（講師、運営支援） <input type="checkbox"/> 研修コンテンツの提供 <input type="checkbox"/> その他、研修の企画・運営に係る必要な支援 →詳しく記入してください（ ）				
10	希望する 支援の内容	活用したい研修プログラムがあれば、別紙「研修支援プログラム（例）一覧」から番号を選択し、記入してください。				
11	申込の理由					
12	その他					

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【地域課題対応研修支援（訪問型研修）】

研修支援申込書

提出日：令和 年 月 日

1	研修担当者	市 町 名	〇〇市（町）	
		所 属	教育委員会生涯学習課	
		職名・氏名	社会教育主事 〇〇 〇〇	
2	研修名	〇〇市公民館職員研修会		
3	会場	〇〇市役所会議室		
4	研修のねらい (向上させたい能力等)	個人の要望や社会の要請を踏まえた学習プログラムの企画・立案の意義や手法を理解し、実務に活かすことができるようになる。		
5	対象者	公民館職員、生涯学習課職員等		
6	希望日時	第1希望	令和 7年 7月 〇日（〇）13:30 ~ 16:30	
		第2希望	令和 7年 8月 〇日（〇）13:30 ~ 16:30	
		第3希望	令和 7年 9月 〇日（〇）13:30 ~ 16:30	
		※日程が決定していない場合は、「〇月中旬」といった書き方でも構いません。 ※研修を複数回行う場合は、「8 研修内容」に全体計画も記入してください。		
7	参加予定人数	20名		
8	研修内容	<p>研修当日の日程</p> <p>①講義：〇〇市が目指す生涯学習・社会教育について【〇〇市職員】 ②講義：学習プログラムの企画・立案【広島県立生涯学習センター職員】 ③演習：学習プログラムの作成【〇〇市職員】</p> <p>全体計画（テーマ）事業の企画立案・評価・リデザインについて</p> <p>【第1回】学習プログラムの企画・立案（本研修） 【第2回】学習プログラムの評価（10月実施予定） 【第3回】学習プログラムのリデザイン（12月実施予定）</p>		
9	希望する 支援の方法等 ※該当に☑ (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 研修プログラムの企画・運営に係る事前、事後の指導・助言 <input checked="" type="checkbox"/> 研修当日の指導・助言（講師、運営支援） <input type="checkbox"/> 研修コンテンツの提供 <input type="checkbox"/> その他、研修の企画・運営に係る必要な支援 →詳しく記入してください（ ）		
10	希望する 支援の内容	活用したい研修プログラムがあれば、別紙「研修支援プログラム（例）一覧」から番号を選択し、記入してください。	4	
11	申込の理由	公民館講座の内容が例年同じものになっており、受講者も年々減少している。そこで、学習プログラムの企画・立案に関する理論をもとに、各公民館の職員で新しい講座を開発してほしいと考えているため、本研修支援を申し込みたい。		
12	その他	本研修をオンラインで実施したい。		

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【地域課題対応研修支援(訪問型研修)】
研修支援プログラム(例)一覧

資料2-4

No.	テーマ	※主な対象				内容	
		① 職員	② 社教委員	③ 地域ボラ	④ 地域学校	項目	主な内容
1	【生涯学習・社会教育の基礎Ⅰ】 「生涯学習・社会教育」の基本事項	○				講義	「生涯学習」や「社会教育」についての用語解説や関係職員に求められる役割等の基本的な事項を学びます。
						演習	地域課題や業務上の課題等に応じたテーマで意見交流を行います。
2	【生涯学習・社会教育の基礎Ⅱ】 生涯学習・社会教育関係法令	○				講義	自分たちの仕事の根拠となる、生涯学習・社会教育関係の法令等を学びます(初任者向け)。
						演習	地域課題や業務上の課題等に応じたテーマで意見交流を行います。
3	生涯学習振興・社会教育行政 関係職員の役割について	○				講義	これからの生涯学習振興・社会教育行政関係職員等に期待されている役割や、職員が身に付ける必要がある基本的な資質・能力について、グループ演習を通じて学びます。
						演習	
4	【学習プログラム開発の基礎Ⅰ】 学習プログラムの企画・立案	○				講義	学習プログラムを企画・立案する上での課題把握や目標設定、プログラム展開等について学びます。
						演習	地域課題に応じた学習プログラムの企画・立案を行います。
5	【学習プログラム開発の基礎Ⅱ】 学習プログラムの評価・リデザイン	○				講義	学習プログラム開発における評価・改善(リデザイン)の理論や手法を学びます。
						演習	既存の事業や新規開発した学習プログラムの相互評価・改善(リデザイン)を行います。
6	参加型学習の実際と ファシリテーションの基礎	○	○	○	○	講義	参加型学習の理論やファシリテーションの基礎的な手法について、「ワールド・カフェ」等を体験しながら学びます。
						演習	
7	「親の力」をまなびあう学習 プログラムの趣旨及び模擬体験	○	○	○	○	講義	家庭教育支援の参加型学習「親の力」をまなびあう学習プログラム(親プロ)の体験を通して、その趣旨やファシリテーターの役割等について学びます。「親プロ」ファシリテーターの研修や交流会向けにアレンジすることも可能です。
						演習	
8	社会教育委員の役割	○	○	○	○	講義	社会教育委員の役割や期待される取組等について学びます。
						演習	地域課題に応じたテーマで意見交流を行います。
9	アウトリーチ型家庭教育支援	○	○	○	○	講義	アウトリーチ型家庭教育支援について学びます。
						演習	家庭教育を支援する基盤の形成に向けて、家庭教育支援チームのスキル向上について学びます。
10	コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の一体的推進	○	○	○	○	講義	地域学校協働活動コーディネーターの役割と意義について学びます。
						演習	学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進における主体的な運営(協働)のスキルについて学びます。

【主な対象】

①市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員等(※)

※生涯学習振興・社会教育行政担当課職員、社会教育主事・生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設(コミュニティセンター等)職員、地域づくりや啓発事業・講座等の企画運営を担当する職員等

②社会教育委員

③地域ボランティア・コーディネーター、社会教育士、親プロファシリテーター

④学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター

○ 研修プログラムは一例です。相談内容や地域課題等に応じてアレンジが可能です。所要時間については適宜対応します。また、このリストにない研修を希望する場合は、当センターへ相談してください。

○ 研修コンテンツの一部や過去の研修の様子を当センターのHPに掲載していますので参考にしてください。

広島県立生涯学習センター「ぱれっと ひろしま」HP ▶

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/houmongatakensyu.html>

- 市町の社会教育主事等が講師を担当される場合は、当センター開発の研修コンテンツ(読み原稿入りのパワーポイント資料等)を提供します。
- 「公民館活性化モデル事業」に係る支援、研修に関わる「講師情報」の提供・相談も、随時、行っています。

広島版



「学びから始まる 地域づくりプロジェクト」 支援事業



各市町や公民館等の要望・状況等に応じた伴走型支援！

地域づくりのための **7月下旬**
学習プロジェクト立案研修

モデル市町伴走型支援
通年(0～3年目)

【趣旨説明(予定)】 本支援事業の概要

【講義(予定)】

学びと地域づくり・ひとづくりの
好循環を創る生涯学習・社会教育

【事例発表(予定)】

学習プロジェクトの実際

【演習・ワークショップ(予定)】

学習プロジェクトのデザイン

【学習プロジェクトの立案・実施】

○分析シートによる整理

・地域の現状や課題、資源等

○企画シートによるプロジェクト検討

・取組の目的や概要、指標・体制等

○プロジェクトの実施に向けた準備

・講師招聘(県費負担)による研修会

○プロジェクトの実施と評価・改善

問合せ：広島県立生涯学習センター振興課

電話：082-248-8848

E-mail : sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp



令和 7 年度

広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業 実施要項

1 趣 旨

- (1) 地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である社会教育関係施設機関等（公民館及び公民館類似施設（コミュニティセンター）等の社会教育関係施設）が行政（首長部局）や大学・企業・NPO、地域の関係機関・団体等と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域づくりの活動を促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう支援する。
- (2) 地域住民の主体的・協働的な学びを通じた地域づくりの活動を促進する事業モデルを開発し、それぞれの公民館等での活動をコーディネートできる人材（社会教育関係施設機関等職員等）の育成を図る。
- (3) 上記事業の構築に当たっては、県及び市町の社会教育主事等がその役割を發揮し、専門性（有用性）を活かす仕組みを取り入れる。

2 主 催

広島県教育委員会（主管：広島県立生涯学習センター）

3 取組内容

- (1) 広島県教育委員会（広島県立生涯学習センター）の取組

ア モデル市町の選定

事業の成果検証が図れるよう、社会や地域の課題解決に係る講座・事業の取組状況、実施体制や想定される地域課題、専門的な職員の配置状況などを総合的に勘案し、市町の課題やニーズを調整の上、モデル市町として4市町程度を選定する。（0年次支援市町も含む。）

イ 社会教育関係施設機関等職員等研修の実施

「広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」」（略称「ひろプロ」、以下「ひろプロ」という。）支援事業を推進するため、地域づくりのための学習プロジェクト立案研修を実施し、「ひろプロ」の企画・調整・運営を務める公民館等職員の当該事業実施を見据えたプロジェクトの企画力やコーディネート力の向上を図る。

ウ 取組の支援

社会教育主事等の専門的な職員が市町を訪問し、モデル市町の職員（社会教育主事や社会教育関係施設機関等職員等）への助言や取組の支援（知事部局等との連携を含む。）を行う。

エ 「ひろプロ」の普及・促進（調査研究）

モデル市町やその他の地域における取組状況等について調査研究し、その成果をまとめて共有する。また、汎用性のある事業モデルをモデル市町と協働開発し、「「ひろプロ」コーディネーターハンドブック」を作成して研修ツールとしての活用を図る。さらに、取組の成果をホームページや県の広報紙へ掲載するなどして、県民及び県内市町に周知し、新たな参加者層の巻き込み及び取組の普及・啓発等を図る。

オ 広島県公民館連合会との連携

本事業の実施に当たっては、広島県公民館連合会と連携して進める。

- (2) モデル市町の取組

ア 事業実施組織（検討チーム）の設置・運営

構成は、公民館等職員（地域づくりのための学習プロジェクト立案研修修了者等）、市町職員（社会教育主事及び地域課題に関する担当課職員等）、広島県立生涯学習センター職員（社会教

育主事等)、地域住民等とし、次の事項を取り扱う。企画・運営は、公民館等職員と市町職員(社会教育主事等)がコーディネートする。

- (7) 地域住民と行政の協働による解決が可能で、かつ、地域住民の主体的な参画が期待される地域課題を選定し、課題解決のための具体的方策の実施体制を検討する。
- (イ) 地域課題に関わる広島県の担当課職員及び広島県教育委員会の担当課職員等を招聘し、研修会を企画・実施する。
- (ウ) 地域課題の解決に必要な学びを提供するための講師(アドバイザー)を選定し、招聘する。
- (エ) 講師(アドバイザー)による助言や参加者による熟議等をとおして、地域住民と行政の協働による課題解決のための事業開発の具体的方策を検討する。

イ 実践

事業実施組織において検討された具体的方策を地域住民と行政が協働して実践する。

※上記における会議・研修会等の実施回数は、実施主体において設定する。また、実行委員会等による実施も可とする。

4 事業実施に係る経費負担

(1) 広島県教育委員会(広島県立生涯学習センター)

- ・地域づくりのための学習プロジェクト立案研修(県主催)に係る経費
- ・広島県立生涯学習センター職員訪問に係る旅費(年間5回)
- ・講師(アドバイザー)招聘に係る報償費、旅費(原則として事業開始年度及び次年度とし、その他については、市町担当課と協議の上決定する)

(2) モデル市町

- ・「ひろプロ」実践の取組に係る経費(他事業の助成金活用等を含む。)

5 モデル市町の決定及び事業計画・報告

(1) 事業計画

事業を実施するモデル市町は、事業実施初年度前に、3か年分「事業計画書(様式第1号)」を広島県立生涯学習センター所長に提出する。

(2) モデル市町の決定

広島県立生涯学習センター所長は、市町の課題やニーズ等を調整の上、モデル市町について決定し、当該市町教育委員会に通知する。

(3) 事業報告

事業を実施したモデル市町は、各年度の事業終了後、年度内に「事業報告書(様式第2号)」を広島県立生涯学習センター所長に提出する。

6 事業の評価・検証

当該年度の事業の成果や課題等に関する評価・検証を図り、次年度に向けて事業内容を精査する。

7 その他

この要項に定めるもののほか、事業の実施に必要な事項については、別に定める。

地域学校協働活動 コーディネーター養成講座

対象

- ◆学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター等（今後、活動を予定・検討されている方を含む）
 - ◆行政職員
 - ◆教職員（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校）
- ※教職員の参加を検討している学校においては、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター等と教職員と一緒に受講することをお勧めします。
※令和5、6年度地域学校協働活動コーディネーター養成講座修了者も受講可能です。

（構成・内容は一部変更することがあります。）

行政説明「広島県のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の 一体的推進の現状について」

第1回
6月26日(木)
13:00~16:30



志々田 まなみ氏

講義「地域学校協働活動コーディネーターに求められる役割と意義」
熟議「子供が抱える課題の理解」
講師：国立教育政策研究所 志々田 まなみ氏
講義・熟議「児童生徒理解に基づく学びの場づくり」
担当：広島県教育委員会個別最適な学び担当



第2回
8月26日(火)
13:00~16:30



円光 歩氏

熟議「社会に開かれた教育課程の実現について」
担当：広島県教育委員会義務教育指導課
講義・熟議「活動プランづくり（ワークショップ）」
講師：一般社団法人まなびのみなと 円光 歩氏



第3回
10月9日(木)
13:00~16:30



竹原 和泉氏

メッセージ「今後のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の
一体的推進に向けて」
講義「これからの学校と地域
～学校運営と教育課程の視点から考える～」
熟議「プロジェクト・マネジメント（ワークショップ）」
講師：特定非営利活動法人まちと学校のみらい
竹原 和泉氏（文部科学省CSマイスター）



※写真は昨年度の養成講座の様子

会場

- 西部会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）
- 芸北会場：北広島町まちづくりセンター
- 東部会場：広島県尾道庁舎
- 北部会場：広島県三次庁舎
- ※オンライン（Zoom）受講可

（受講申込の状況等により、会場が変更になることがあります。）



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

広島県教育委員会



大学生ボランティアチーム

ワクワク学び隊

をご活用ください！

大学生ボランティアが創る、新しい体験・交流の場！

～県内各地で活用され、地域学校協働活動の充実につながっています！～



活動例

実験、工作、絵画、音楽、ダンス、演劇、スポーツ、レクリエーション、英会話、読み聞かせ、学習支援、学校内での活動支援、児童・生徒が参画するイベントの支援…



広島県立生涯学習センターが大学生とのマッチングをします



- 広島県立生涯学習センターでは、県内の市町が実施している地域学校協働活動を充実させるとともに大学生の地域貢献を促進するため、大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」を派遣します。
- 令和6年度から、「ワクワク学び隊」の派遣対象をすべての地域学校協働活動に拡大しています。
- 依頼元に大学生ボランティアへの交通費相当額の支給をお願いしています。



エントリー状況・チーム紹介／派遣希望書等ダウンロード

広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47

TEL: 082-248-8848 FAX: 082-248-8840

MAIL: sgcsinkou@pref.hiroshima.lg.jp

HP: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/center-model-wakuwaku-wakuwaku-top.html>

ぱれっとひろしま



大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」派遣実施要項

広島県立生涯学習センター

1 趣旨

この要項は、県内の市町が実施している地域学校協働活動（※）を充実させるとともに大学生の地域貢献を促進するため、県内の大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」（以下「ワクワク学び隊」という。）を派遣することに関して、必要な事項を定める。

※ 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 5 条第 2 項に規定される、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

2 派遣の対象

「ワクワク学び隊」は地域学校協働活動に対して派遣する。

3 「ワクワク学び隊」に関する事務

「ワクワク学び隊」に関する事務は、広島県立生涯学習センター（以下、「生涯学習センター」という。）が行う。

4 募集

「ワクワク学び隊」の募集は、県内の大学の協力を得て行う。

5 登録**(1) 登録の要件**

「ワクワク学び隊」として登録する要件は、次のとおりとする。

ア 原則として県内の大学に在学する学生で、複数人で構成されていること

イ 政治・宗教・営利活動を目的としないこと

(2) 登録の有効期間

「ワクワク学び隊」の登録有効期間は、登録の日から登録の日が属する年度の末日までとする。

(3) 登録データの管理

登録されたデータは、個人情報保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）に基づき、適正に管理するものとする。

6 派遣**(1) 派遣の依頼**

「ワクワク学び隊」の派遣を希望する活動主催者は、生涯学習センターに派遣を依頼するものとする。

(2) 派遣の決定

生涯学習センターは、派遣依頼のあった者と「ワクワク学び隊」との調整を行い、派遣を決定する。

(3) 派遣の中止

生涯学習センターは、「ワクワク学び隊」の派遣に関わって支障がある場合には、該当する依頼元と協議した上で派遣を中止することができる。

7 秘密を守る義務

「ワクワク学び隊」として派遣される者は、活動上知り得た秘密を漏らしてはならない。

8 保険

生涯学習センターは、「ワクワク学び隊」のメンバーを被保険者とする傷害及び損害賠償の保険に加入する。

9 その他

この要項に定めるもののほか「ワクワク学び隊」の派遣に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 29 年 7 月 6 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 6 年 2 月 1 日から施行する。

令和7年度 地域学校協働活動推進事業
大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」のエントリー状況

NO	チーム名	登録人数	活動内容		活動可能な時期	活動可能な地域	所属大学名
1	近畿大学クリーンライフボランティアサークル	6	工作 レクリエーション 学習支援	大学付近で主に活動しています。令和6年度は高屋西地域センターで行われた子供を対象とするイベントの企画・運営や地域の安全啓発マップ作成に携わりました。令和7年度も引き続き子供たちと関わるイベントを企画していければと考えております。	<日にち・曜日等> 4月27日～7月19日頃 8月4日～9月10日頃 12月24日～1月15日頃 2月1日～3月31日頃 土曜日、日曜日	東広島市	近畿大学
2	青年ボランティアグループ「カッターズ」	14	工作、スポーツ レクリエーション	子供たちが楽しめるように、日頃キャンプで養った力を活かしながら、活動を行います。季節や場所、人数に合わせて内容を考えます。	<日にち・曜日等> 要請に応じて、都合の合う日に活動します。	対象市町すべて 特別支援学校	安田女子大学 尾道市立大学
3	HIT-ALPs 電気クラブ	28	実験、工作	日常に欠かせない「電気」の面白さを体験できる実験教室・工作教室を開催します。	<日にち・曜日等> 5月10日～3月31日頃 土日祝日、長期休暇についても相談に応じます。	広島市、大竹市 東広島市 廿日市市、府中町 海田町、熊野町 坂町 オンライン対応可	広島工業大学
4	JCDキャロット（出張理科実験）	7	実験、工作	理科の面白さや楽しさを知ってもらうために、女子学生たちが楽しく工作や実験を教えます。	<日にち・曜日等> 4月10日～1月20日頃	広島市、三原市、 尾道市 廿日市市 府中町、海田町、 熊野町	広島工業大学
5	メイプルみっつ	19	工作、音楽 ダンス、スポーツ レクリエーション	要請に応じて柔軟に活動の企画及び運営を行います。また、対象児童の学年や人数に合わせて、より良い活動の提供と支援を目指します。活動内容については、幅広い分野に対応いたしますので、派遣を御希望の場合は、御相談ください。	<日にち・曜日等> 要請に応じて、都合の合う日に活動します。	東広島市	広島大学
6	レクリエーションボランティアサークル	8	音楽、ダンス、 スポーツ レクリエーション 読み聞かせ 学習支援 学校内の活動支援 児童・生徒が参画するイベントの支援	登録メンバー全員が子ども学科なので、小さい子どもたちと遊ぶことは得意です。	<日にち・曜日等> 要請に応じて、都合の合う日に活動します。	広島市、呉市 大竹市 廿日市市 府中町、海田町 坂町	広島文化学園大学

令和6年度「親の力」をまなびあう学習プログラム まとめ

令和7年4月
広島県立生涯学習センター

1 基本方針

広島県教育委員会では、親の教育力の低下やモラルの低下など、家庭の教育力の低下が指摘される中、家庭の教育力の向上を目指すことを目的として、平成20年度から、広島県教育委員会が開発した「親の力」をまなびあう学習プログラム（以下「親プロ」という。）を活用した学習機会の充実に取り組んでいる。平成23年度からは、市町が実施する「親プロ」の支援を行うこととし、教材の改善・開発、ファシリテーターの資質向上に取り組んでいる。

また、平成29年2月に策定された「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを踏まえ、ネウボラ等で活用できる教材の普及を行っている。

2 令和6年度の成果

(1) 親プロ講座の実績

区分	R 5			R 6		
	市 町	うち 親子コミ※	高等学校	市 町	うち 親子コミ※	高等学校
講 座 数	202	10	3	159	28	2
実施市町	16	5	3	17	2	2
受講者数	2,618	129	82	2,501	374	106

※親子コミ…親子コミュニケーション応援編

(2) 講座実施に係る主な取組

呉市での親プロファシリテーターフォローアップ講座の実施

コロナ禍が明け、親プロ講座を再開させてファシリテーターの皆さんにも活躍していただきたいという思いから、県と市が連携してフォローアップ講座を実施し、8名の方が受講された。これを機に、家庭教育支援関係の研修参加も増え、他市町のファシリテーターと交流の機会をもつことができた。また、前年度は0回だった親プロ講座も、1回開催することができた。

大竹市での親プロファシリテーター養成講座の実施

県と市が連携して、3年ぶりに養成講座を実施し、4名の方が受講された。家庭教育支援の概要や親プロファシリテーターの役割についての講義及び演習を、当センター職員（親プロファシリテーター）が行った。講座後、新しく親プロファシリテーターになられた方が、親プロ講座を実施。4年ぶりの開催となった。

「親の力」をまなびあう学習プログラム意見交流会実施

新しいプログラム案を開発するための意見交流会を実施し、親プロファシリテーター及び各市町の家庭教育支援を担当する行政職員等11名が参加した。「児童生徒の現状と家庭教育支援の課題」について、府中町教育委員会青少年教育相談員の奥金実氏に講義をしていただき、悩む親子への支援について学んだ。講義内容を基に、各グループで新プログラム案を考え、全体共有を行った。

大野東市民センターでの親プロ講座開催

教材番号：24

プログラム名：かかわってみて・・・～地域の大人ができること～（アレンジ版）

令和6年度6月から「こどもの居場所@おおのひがし」を始めるにあたり、地域の大人として子供を見守るメンバーの気持ちを揃えるために親プロ講座が開催され、10名が参加した。自分が子供だった頃にどんな場所でどんな遊びをしていたか振り返った後、今の子供たちはどんな遊びをしているか、子供の健やかで豊かな成長のために、自分たちはどんな大人であったらよいか等を話し合った。

地域の大人ができることについて、それぞれの立場で考え、意見を出し合うことで、子供を知ることや子供たちとのコミュニケーションの大切さに気付き、「こどもの居場所@おおのひがし」を実施する上での意識統一を図ることができた。

(3) 教材の改善

「親の力」をまなびあう学習プログラム 意見交流会開催。

(4) 養成したファシリテーターへの支援

アウトリーチ型家庭教育支援研修、親プロファシリテーターステップアップ研修（オンラインでの実施）

【研修内容】講義、実践発表、情報提供、意見交流等

(5) ホームページ、メールマガジン等による情報提供

当センターホームページ「ばれっとひろしま」で市町やファシリテーターの取組を支援する情報を提供。メールマガジンにて、各種研修の案内、報告を発信。

(6) 市町が実施するファシリテーター養成講座及びフォローアップ講座の支援

○養成講座実施市町数：5市町（福山市、府中市、大竹市、東広島市、府中町）

※呉市は、東広島市の講座に参加。広島市は、東広島市・府中町の講座に参加。

○フォローアップ講座実施市町数：2市（呉市、東広島市）

○地域課題対応研修支援：廿日市市（令和6年度「親の力」をまなびあう学習プログラム）ファシリテーターフォローアップ&交流会）

寄って話して
自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

おや び ろ
親プロ



「親の力」をまなびあう学習プログラム（通称「親プロ」）は、気軽に交流できる雰囲気の中で、親の悩みに対応した、どの家庭でもありそうな身近な場面での「子供との関わり方」を考え、話し合うための教材です。

親プロは…

- ◇親子関係や家族関係をより豊かなものにしていくきっかけ作りのために、子育てについて交流しながら学び合う「寄って、話して、自ら気づく」参加型の学習プログラムです。
- ◇少人数でも、多くの方が集まる場合でも実施できます。
- ◇様々な場面で使える子育ての段階に応じた複数のプログラムがあります。
- ◇話し合いをスムーズに進行するために、ファシリテーター（講師）を派遣します。



「親プロ」での学びは、

- ①子供への理解が深まります。
- ②保護者同士の交流が深まります。
- ③子育てについて振り返り、家庭教育について新たな気づきがあります。



【参加者の声】



子育てを振り返ることができました。

教材は、ワークシートに記入するタイプの他にも、大型モニターやプロジェクター投影対応のデジタル版、スマートフォンやタブレット端末対応のオンライン版も作成しています。

私だけじゃない、みんな同じなんだと少し気が楽になりました。

転勤してきたばかりでしたが、仲間ができました。



お問い合わせはこちらまで！

広島県立生涯学習センター（ぱれっとひろしま）TEL：082-248-8848
メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp HP：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>
または各市町の「家庭教育担当課」へお問い合わせください。



「親の力」をまなびあう学習プログラム」一覧 ☆:デジタル版あり

段階	対象	No.	教材タイトル
子育て準備期 	中学・高校生など 青少年	1	おぎゃーってスゴイ！ ～生まれてきた自分 やがて生まれてくる命～
		2、2-2(アレンジ版)	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～
		3	おや！ おや？ ～自分のあゆみと親のかかわり～
	まもなく親になる人	4	親になるって！？ ～命を授かる責任と喜び～
		5	妊娠期のカラダとココロ ～パートナーの理解と協力～
子育て前期 	0～2歳児の親	6、6-2(アレンジ版)	出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～
		7	私の時間、子供の時間 ～つくっていますか？心のゆとり～
		8	お付き合いって難しい？！ ～「私と周り」の人間関係を振り返る～
		9	ワイワイ、キヤーキヤー！ ～「子供と遊び」について考える～
		10	買って買って！ ～さあ困った！あなたなら？～
	3～6歳児の親	10-2(アレンジ版)	こんな時、どうする？ ～子供の気持ちを受け止める～
		11	〇〇ちゃんがするっ！！ ～自我の芽生えと親の思い～
		12	もうすぐ小学生！ ～これまでの子育てを振り返る～
	小学1～3年生の親	12-2(アレンジ版)	もうすぐ小学生！ ～期待と不安の中味とは？～
		13	親子でやってみよう！ ～楽しい小学校生活を過ごすために～
☆14		くらべないで！ ～同じ子供なんて一人もいない～	
☆15		みなおして！ ～多様な視点から子供を見る～	
16		体と心の変化 ～子供の思い、親の戸惑い～	
子育て後期 	小学4～6年生の親	17	どうする？ どういう？ ～子供の間人間関係へのかかわり～
		18	さあ、どっち！？ ～信じる、見守る、待つ、聞く～
		19	思い出して見て・・・ ～私にもあった青春時代～
	中学・高校生の親	20	キャッチボールは得意ですか？～気持ちを伝える胸の真ん中で受け止める～
		21	ほどよい距離感って？～子供の自立と親の自立～
子育て支援期	中高年など 子育て支援者	22	よりそってみて ～子育て環境の変化を知る～
		23	たちどまってみて ～こんな場面であなたなら？～
		24	かかわってみて ～地域の大人ができること～ 

テーマ別に開発した教材 ☆多様化する現代的課題に対応した教材です。

小学生～高校生の父親	☆25	お父さんの子育てトーク！ ～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～
乳幼児～高校生の親	26	スマホ！ウチではどうする？！～考えてみて、わが家流のつきあい方～
小学生～高校生及びその親	26-2(アレンジ版)	スマホ時代の子供たち～身につけたいスマホリテラシー～
子育て期の親、働く人など	27	向きあってみて... ～「仕事」と「子育て」の調和のために～
まもなく親になる人、0～3歳児の親子	28	おひざにだっこでおはなししましょう～絵本をひらいてみませんか～
まもなく親になる人、0～3歳児の親	29	おひざにだっこでおはなししましょう～読み聞かせ、どうしてる？～
中学・高校生などの青少年	30	地域ぐるみで子育て！～親の立場で考えてみよう～
	31	あなたならどうする、どう考える？～親として、地域の一人として～

親子コミュニケーション応援編 ☆子供の気持ちに共感した接し方、コミュニケーションの方法を具体的に考える教材です。

概ね2、3歳～6歳児の親 	☆コ-1	「ちゃんとしてね！」で伝わってる？
	コ-2	ほめて「楽」に子育て～悩むの中止で注視しよう～
	コ-3	待つ門には福がくる！？
	コ-4	いきなりどなっていませんか？
	コ-5	備えあれば怒りなし！？
	コ-6	指示より支持してみよう 

短時間でできる教材 ☆乳幼児の親を対象として「サイコロ」や「カード」で楽しく学べる教材です。

0歳～2歳児の親	☆ミニ-1	みんなどうしてる？～親編・親の生活編・子供の生活編～
	☆ミニ-2	デジタル時代の子育て～スマホの使い方 みんなどうしてる？～

「親の力」をまなびあう学習プログラム」Q&A

Q. 「親プロ」を活用することで、どんな成果がありますか？

A. 親自身の子育ての悩みや不安を解消するほか、親同士の交流・ネットワークを深めることができます。子供たちの明るい笑顔と未来のために、親の学びや育ちを応援することができるプログラムです。

Q. 時間はどのくらいかかりますか？

A. 90分～120分のプログラムが多くありますが、15～50分程度の短時間で活用いただけるものもあります。参加者のニーズや「場」に応じて、プログラムをアレンジして短時間で実施することもできます。

Q. 講師は誰が務めるのですか？

A. 県や市町の養成講座を修了したファシリテーターが、学習プログラムの進行を務めます。参加者が安心して自分の意見を言ったり、人の意見を聞いたりすることができるような雰囲気を作り、学びや交流を促していく役割を担います。

「親プロ」について
詳しくは
こちらからどうぞ！

紹介動画も
視聴できます



社会教育士

知っていますか？

詳しくは
特設サイトへ



私たちのまちや暮らしにある様々な課題。

その課題の解決に向けて、地域に暮らすみなさんを支えるのが「社会教育士」です！



文部科学省



社会教育士

社会教育士とは？

社会教育士は、文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人たちの**称号**です。講習や養成課程で習得した社会教育の制度や基礎的な知識に加え、**コーディネート能力**、**ファシリテーション能力**、**プレゼンテーション能力**等を活かし、行政や企業、NPO、学校等の多様な場で活躍することが期待されています。

社会教育士取得へのステップ



こんな方に社会教育士になることをおすすめします！

行政職員

どの部署の職員にとっても必要な地域のニーズに寄り添い、地域住民と協働していくための専門的スキルが身につきます。つまり、全ての行政職員におすすめです！



NPOに所属する人

地域づくりや地域の課題解決に取り組む方には欠かせない、行政や住民等との連携・協働をスムーズにする「学び」のスキル・ノウハウが体系的に身につきます。



企業

企業が地域とともに持続的に発展していけるよう、地域の課題解決やSDGsの推進にも積極的に関わっていきたいという方、特に企業のCSR担当の方におすすめです。



学校の教職員

子供の主体的・対話的で、探究的な学びの場や、社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。



社会教育士は、社会教育の制度や仕組み、基礎的な知識に加え、下記の専門性の習得をねらいとした課程や講習を修了した人たちの称号です。

1

ファシリテーション能力

人のやる気に火をつけたり、ものごとを自分事化していくプロセスを支えたりというような、活動への意欲・自発性を引き出しながら意識・行動の変化を促していく「学び」を支援するための基礎的な知識と技能

2

プレゼンテーション能力

地域のヒト、コト、モノや、地域で共有したい想いや願いなどの情報を、より多くの人に、わかりやすく、共感しやすい方法で積極的に伝えていくための基礎的な知識と技能

3

コーディネート能力

人どうし、活動どうし、組織どうしなど、異なる他者どうしが相互理解を深め、信頼し合い、互いを支え合うことができる関係(協働)へと調整するための基礎的な知識と技能

これまでの社会教育主事となにが違うの？

Point
01

社会教育主事講習・養成課程で学ぶ内容が変わった！

社会教育主事が、これまで以上に人づくりや地域づくりの中核的な役割を担うことができるよう、その職務遂行に必要な基礎的な資質・能力を養成するため、社会教育主事講習及び大学等における社会教育主事養成課程の科目の改善が図られました。

- 社会教育主事講習・養成課程に「生涯学習支援論」と「社会教育経営論」の2科目を新設
- 社会教育主事養成課程において「社会教育実習」が必修化

Point
02

発令を受けていなくても名乗れる称号ができた！

社会教育主事は、都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されなければ、その職務に就くことができません。そのため、これまでもNPOや社会教育関係団体、企業、学校教職員、PTAなどの方々が講習や養成課程を受講し、さまざまな場で活躍していましたが、「社会教育主事」とは名乗ることができませんでした。そこで、講習や養成課程における学習成果がさらに広く社会における教育活動に生かされるよう、定められた科目を修了した者は「社会教育士」と称することができるようになりました。

社会教育主事が、教育的専門職員として都道府県及び市町村の教育委員会に置かれなくてはならないことは、これからも変わりありません。地域における様々な分野で活躍する社会教育士が増えるにつれ、「学びのオーガナイザー」としての総合的な視点に立った地域全体の社会教育振興に取り組む社会教育主事の役割はますます重要になります。

■ 『社会教育士』の称号を取得するには？

社会教育主事講習を受講して必要な単位を修得する必要があります。令和7年度に開催される講習は次のようなものがあります。

◎ ライブ配信やeラーニングは、職場や自宅からオンラインで受講可能！

主催	国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育主事講習【A】	広島大学 社会教育主事講習	国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育主事講習【B】 広島会場
会場	【通常コース】 オンライン 社会教育実践研究センター（東京） 【オンラインコース】 自宅か職場からオンライン受講	広島大学 東広島キャンパス（東広島市）	広島県情報プラザ（広島市）
時期	【通常】 令和7年7月11日(金)～8月20日(水) 【オンライン】 令和7年7月11日(金)～8月28日(木)	令和7年7月21日(月)～8月19日(火)	令和8年1月16日(金)～2月20日(金)
時間	平日9:00～17:15 (ライブ配信・集合形式の場合)	平日10:30～17:50 (ライブ配信・集合形式の場合) <small>※8:50開始となる日もあります。</small>	平日9:30～17:15 (ライブ配信・集合形式の場合)
定員	116名(【通常】80名、【オンライン】36名(全国))	40名	80名(主会場：東京)、40名(広島会場)
単位数	4科目8単位(各科目2単位) ★複数年での分割受講が可能(科目ごと)		
生涯学習概論(※)	生涯学習の理念と施策・社会教育の意義と展開等		
	【通常・オンライン】 ◎eラーニング(約25.5時間) ◎ライブ配信(約4.5時間・1日)	◎ライブ配信(約30時間)	◎eラーニング(約24時間) ◎ライブ配信(約6時間・1日)
社会教育経営論	社会教育行政の経営戦略・社会教育行政と地域活性化等		
	【通常・オンライン】 ◎eラーニング(約25.5時間) ◎ライブ配信(約4.5時間・1日)	◎ライブ配信(約8時間) ●集合形式(約22時間)	◎eラーニング(約24時間) ◎ライブ配信(約6時間・1日)
生涯学習支援論	学習支援に関する理論・参加型学習の実際とファシリテーション技法等(約30時間)		
	【通常】 ●集合形式(約30時間・5日) 【オンライン】 ◎ライブ配信(約30時間・5日)	●集合形式(約30時間)	◎ライブ配信(約12時間・2日) ●集合形式(約18時間・3日)
社会教育演習	教育事業の立案・展開の実際		
	【通常】 ●集合形式(約30時間・5日) 【オンライン】 ◎ライブ配信(約30時間・6日)	●集合形式(約60時間)	●集合形式(約30時間・5日)
特徴	・県外受講者との交流機会が多い ・通常コースとオンラインコースがあり、勤務状況等に合わせた受講しやすい	・学校の夏休み期間を利用して、教職員等が受講しやすい ・県外受講者との交流機会が多い	・冬季の行事閑散期に開催 ・eラーニングによるオンデマンド受講が多く、勤務の状況に応じて受講しやすい

※放送大学の対応する科目を履修した場合、既修得単位として認定を受けることができます。

- ・その他、県外の大学等でも、オンラインやオンデマンドを活用した講習が開催されています。
- ・詳しくは、文部科学省のホームページを参照、又は、広島県立生涯学習センターまでお問合せください。

【申込先】 広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47
TEL : 082-248-8848 / Mail : sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp



社会教育士



学校と地域が連携・協働して、学校と地域をつなぎ、学びを創り出す

社会教育士

になりませんか

?

詳しくは
特設サイトへ



★「社会教育主事講習」の御案内★

「人づくり・つながりづくり・地域づくり」のスペシャリスト 学びと地域をむすぶオーガナイザー 社会教育士

講習を受講すれば…

教職員ならだれもがスキルアップしておきたい

- ★1 コーディネート能力
- ★2 ファシリテーション能力
- ★3 プレゼンテーション能力

が身に付きます

★ こんな場面で役立ちます ★

教員の
授業づくりに

1

探究学習やキャリア教育、
主体的・対話的な学びの場づくりなど、
教育内容・授業の改善・充実に役立つ！

校長・教頭
CS担当教員等に

2

地域連携や多様な主体とのネットワーク
づくりの視点が、「社会に開かれた教育
課程」の実現やコミュニティ・スクールの
効果的な運営に役立つ！

行政職員
指導主事等に

3

学校教育・社会教育双方の部署に社会教育
主事(出)を配置することで、教育委員会
管内のコミュニティ・スクールと地域学校
協働活動の一体的推進体制の構築が進む！

社会教育士とは？

社会教育士は、文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人たちの**称号**です。講習や養成課程で習得した社会教育の制度や基礎的な知識に加え、コーディネート能力、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力等を活かし、行政や企業、NPO、学校等の多様な場で活躍することが期待されています。

社会教育士取得へのステップ



こんな方に社会教育士になることをおすすめします！

行政職員

どの部署の職員にとっても必要な地域のニーズに寄り添い、地域住民と協働していくための専門的スキルが身につきます。
つまり、全ての行政職員におすすめです！



NPOに所属する人

地域づくりや地域の課題解決に取り組む方には欠かせない、行政や住民等との連携・協働をスムーズにする「学び」のスキル・ノウハウが体系的に身につきます。



企業

企業が地域とともに持続的に発展していけるよう、地域の課題解決やSDGsの推進にも積極的に関わっていきたいという方、特に企業のCSR担当の方におすすめです。



学校の教職員

子供の主体的・対話的で、探究的な学びの場や、社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。



社会教育士は、社会教育の制度や仕組み、基礎的な知識に加え、下記の専門性の習得をねらいとした課程や講習を修了した人たちの称号です。

1

ファシリテーション能力

人のやる気に火をつけたり、ものごとを自分事化していくプロセスを支えたりというような、活動への意欲・自発性を引き出しながら意識・行動の変化を促していく「学び」を支援するための基礎的な知識と技能

2

プレゼンテーション能力

地域のヒト、コト、モノや、地域で共有したい想いや願いなどの情報を、より多くの人に、わかりやすく、共感しやすい方法で積極的に伝えていくための基礎的な知識と技能

3

コーディネート能力

人どうし、活動どうし、組織どうしなど、異なる他者どうしが相互理解を深め、信頼し合い、互いを支え合うことができる関係(協働)へと調整するための基礎的な知識と技能

これまでの社会教育主事となにが違うの？

Point
01

社会教育主事講習・養成課程で学ぶ内容が変わった！

社会教育主事が、これまで以上に人づくりや地域づくりの中核的な役割を担うことができるよう、その職務遂行に必要な基礎的な資質・能力を養成するため、社会教育主事講習及び大学等における社会教育主事養成課程の科目の改善が図られました。

- 社会教育主事講習・養成課程に「生涯学習支援論」と「社会教育経営論」の2科目を新設
- 社会教育主事養成課程において「社会教育実習」が必修化

Point
02

発令を受けていなくても名乗れる称号ができた！

社会教育主事は、都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されなければ、その職務に就くことができません。そのため、これまでもNPOや社会教育関係団体、企業、学校教職員、PTAなどの方々が講習や養成課程を受講し、さまざまな場で活躍していましたが、「社会教育主事」とは名乗ることができませんでした。そこで、講習や養成課程における学習成果がさらに広く社会における教育活動に生かされるよう、定められた科目を修了した者は「社会教育士」と称することができるようになりました。

社会教育主事が、教育的専門職員として都道府県及び市町村の教育委員会に置かれなくてはならないことは、これからも変わりありません。地域における様々な分野で活躍する社会教育士が増えるにつれ、「学びのオーガナイザー」としての総合的な視点に立った地域全体の社会教育振興に取り組む社会教育主事の役割はますます重要になります。

■ 『社会教育士』の称号を取得するには？

社会教育主事講習を受講して必要な単位を修得する必要があります。令和7年度に開催される講習は次のようなものがあります。

◎ ライブ配信やeラーニングは、職場や自宅からオンラインで受講可能！

主催	国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育主事講習【A】	広島大学 社会教育主事講習	国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育主事講習【B】 広島会場
会場	【通常コース】 オンライン 社会教育実践研究センター（東京） 【オンラインコース】 自宅か職場からオンライン受講	広島大学 東広島キャンパス（東広島市）	広島県情報プラザ（広島市）
時期	【通常】 令和7年7月11日(金)～8月20日(水) 【オンライン】 令和7年7月11日(金)～8月28日(木)	令和7年7月21日(月)～8月19日(火)	令和8年1月16日(金)～2月20日(金)
時間	平日9:00～17:15 (ライブ配信・集合形式の場合)	平日10:30～17:50 (ライブ配信・集合形式の場合) ※8:50開始となる日もあります。	平日9:30～17:15 (ライブ配信・集合形式の場合)
定員	116名(【通常】80名、【オンライン】36名(全国))	40名	80名(主会場：東京)、40名(広島会場)
単位数	4科目8単位(各科目2単位) ★複数年での分割受講が可能(科目ごと)		
生涯学習概論(※)	生涯学習の理念と施策・社会教育の意義と展開等		
	【通常・オンライン】 ◎eラーニング(約25.5時間) ◎ライブ配信(約4.5時間・1日)	◎ライブ配信(約30時間)	◎eラーニング(約24時間) ◎ライブ配信(約6時間・1日)
社会教育経営論	社会教育行政の経営戦略・社会教育行政と地域活性化等		
	【通常・オンライン】 ◎eラーニング(約25.5時間) ◎ライブ配信(約4.5時間・1日)	◎ライブ配信(約8時間) ●集合形式(約22時間)	◎eラーニング(約24時間) ◎ライブ配信(約6時間・1日)
生涯学習支援論	学習支援に関する理論・参加型学習の実際とファシリテーション技法等(約30時間)		
	【通常】 ●集合形式(約30時間・5日) 【オンライン】 ◎ライブ配信(約30時間・5日)	●集合形式(約30時間)	◎ライブ配信(約12時間・2日) ●集合形式(約18時間・3日)
社会教育演習	教育事業の立案・展開の実際		
	【通常】 ●集合形式(約30時間・5日) 【オンライン】 ◎ライブ配信(約30時間・6日)	●集合形式(約60時間)	●集合形式(約30時間・5日)
特徴	・県外受講者との交流機会が多い ・通常コースとオンラインコースがあり、勤務状況等に合わせて受講しやすい	・学校の夏休み期間を利用して、教職員等が受講しやすい ・県外受講者との交流機会が多い	・冬季の行事閑散期に開催 ・eラーニングによるオンデマンド受講が多く、勤務の状況に応じて受講しやすい

※放送大学の対応する科目を履修した場合、既修得単位として認定を受けることができます。

- ・その他、県外の大学等でも、オンラインやオンデマンドを活用した講習が開催されています。
- ・詳しくは、文部科学省のホームページを参照、又は、広島県立生涯学習センターまでお問合せください。

★教職員等の受講に係るサービスについては、各所属長の判断となりますが、一般的には「職務専念義務免除」で受講できます。

★所属長及び所管の教育委員会等におかれましては、教職員の受講への御理解・御協力をお願いします。



社会教育士



【申込先】 広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

TEL: 082-248-8848 / Mail: sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp